

# 地域と育む、 こどもたちの未来







# 自然に囲まれて1歩ずつ

— 開園から3カ月を迎えたぶなのもりこども園 —

ぶなのもりこども園は、

幼稚園と保育所の機能を併せもつこども園として、保護者だけでなく多くの町民の方から地域の子育て支援の拠点としての役割が期待されるなど、注目の中、今年4月に開園しました。自然豊かな只見町で、満1歳から就学前の子どもたちが、年齢の枠を越えて共に過ごし、人と関わる力や自分らしさを育んでいます。

開園から3カ月が経ち、初めは不安そうな顔をしていた子どもたちも、先生方の温かな声掛けや友達との楽しい関わりで、今では目を輝かせて遊ぶ姿が見られるようになりました。園庭や散歩先の自然の中では、様々な発見があり、感性を刺激する体験が日常の一部として広がっています。

## ぶなのもりこども園 増田園長に聞きました

### ぶなのもりこども園が目指す姿を教えてください！

ぶなのもりこども園の教育・保育の目標は、将来的に「自立した人間」の育成です。子どもたちが自ら考え、判断し、主体的に行動できる力を育てるために、園では日々の遊びを通して多様な体験を重ねています。その中で特に大切にしているのが次の4点です。

#### ① 子どもの疑問を大切にする

身の回りのことに対する「なんだろう？」という気づきを大切にし、心を動かす体験を提供できる環境を整えます。

#### ② 「やってみよう！」という気持ちを尊重する

子ども一人ひとりの興味に寄り添い、自分のペースで挑戦できるように見守り、応援します。

#### ③ 仲間とともに発見や喜びを共有する

友だちとの関わりの中で新しい気づきが生まれるような活動を通して、協働の楽しさや広がりを感じられるようにします。

#### ④ 安心できる大人としての関わり

安心感の中でこそ子どもは新しいことにチャレンジできます。気持ちを受け止めたり、そっと背中を押ししたりしながら、対話を大切に支えていきます。

さらに、園では失敗や危険を回避する経験を通じて、判断力や自立心を育てることを重要と考えています。大きなケガにつながらないように安全な環境を整えていくことも、私たち保育者の役割であるため、十分に配慮をしていきますので、ご理解ご協力をいただき、子どもたちが成長する喜びを保護者の皆さんと分かち合いたいと考えています。

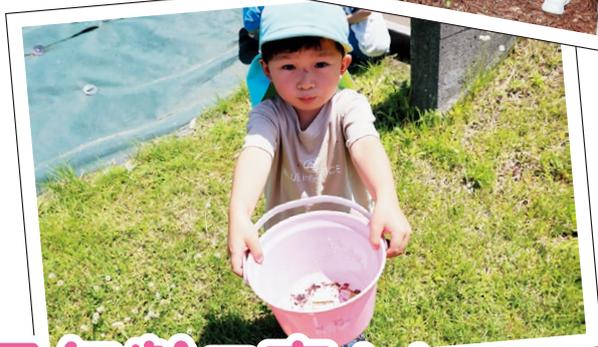


只見町で子育てをする魅力

# ばなのもりこども園の強み

## 1. 自然の中でのびのび！

園の近くにある山や川など、自然を生かした保育を行っています。子どもたちは実際に森の中を歩くなどする中で、五感を使って自然に触れ、様々な発見を楽しみます。こうした体験は子どもたちの好奇心や探究心を育て、学びへと繋がる貴重なきっかけとなっています。



## 2. 異年齢で育ちあう

年齢の異なる子どもたちが一緒に生活し、自然なかたちで関わりあう時間があります。年上の子が年下の子の手を引いたり、優しく声をかけたりする姿は、思いやりや責任感を育てます。年下の子は、年上の子のうしろ姿を見つめ、少しずつ真似ながら成長していきます。教えあい、育ちあう力を自然と引き出してくれます。



## 3. 達成感を次の成長に

子どもたちに「できた！」を感じてもらうチャンス大切にしています。服を着替える、靴をそろえる、ご飯の配膳をする、そんな日常の一コマの中でも挑戦のチャンスが沢山あります。すぐに手を貸すのではなく、見守りながら少しだけ背中を押すことで、子どもたちは自信と達成感を積み重ねていきます。「できた！」の喜びが自主性を育てる土台となっています。



# 一日に密着！

**Point!**  
 個々のアレルギーや体調に応じて配膳のタイミングを変えるなど、誤りが無いように工夫しています。



## 給食

給食の前に自分達で手を綺麗に洗います。給食室で作られたお昼ご飯を、先生が教室に準備し、子どもたちが自分の席まで運びます。子どもたち自身で体調に応じて、少なめに分けられたものを選ぶこともできます。未満児クラスは、先生が素早く準備、配膳します。

## お昼寝・ゴロゴロタイム

年長と年中の子どもたちはホールで横になり、体を休めます。年少の子どもたちは先生にお布団を敷いてもらいます。お昼寝中も最低一人以上の先生が教室についています。お昼寝の間に先生は、連絡帳の記入や情報共有を行ったり、研修を受けたりしています。



12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00~
食	お昼寝		おやつ・遊び	順次降園・降所		



## おやつ

園児がお昼寝から起きたら、布団を片付け、おやつの準備をします。子どもたちみんなが楽しみにしている時間です。おやつが終わると、只見、明和地区の子どもたちは帰りの支度を整え、バスに乗る準備をします。朝日地区の子どもたちは異年齢児の教室などに集まり、絵本を読んだりおもちゃで遊んだりして、お迎えを待ちます。先生たちは、子どもたちが帰った後、子どもたちの1日の様子を共有したり、明日の予定のチェックをしたりします。

## 保護者の声

- 先生とのやりとりが増えて、ちょっとした相談や報告が気軽にできるようになりました。
- こども園のバスの乗降が道路沿いなので、少し気を遣います。先生や運転手さんがついてるので、すごく心配というわけではないのですが…。
- お家でも、お着替えやお片付けに挑戦する姿が増えました。園での経験が生きているのかな？
- 朝の忙しい時間にオムツなどをセットにお部屋まで行くのがちょっと大変。でも、子どもたちや先生の行ってらっしゃいで頑張れます。

開園から3ヵ月が経ち、保護者の方からもこども園の良い所や課題とを感じる部分についての声が少しずつ挙がってきました。皆さんの意見を聞きながら、只見町のこども園らしさを生かし、子どもたちの成長のために、より良い場所とはなにかを考えながら運営していきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

# 子どもたちの



## 登園・登所

朝は9時頃までに登園してもらいます。只見・明和の子どもはそれぞれの保育所からバスを使って登園します。沿線では町民の皆さんが「いってらっしゃい」と手を振ってくれます。



**Point!** 乗降どちらの際も点呼するなど、人数をしっかりと確認します。降車後は車内を隅々まで目視し、車内に残されている子がいないか確認します。



## 午前の活動 (明和保育所で外遊び)

たんぼぼ組の子どもたちは明和保育所に行きました。明和保育所から聞こえる子どもたちの元気な声に地域のおじいちゃんおばあちゃんが集まり、みんなで楽しい時間を過ごしました。



7:00

8:00

9:00

10:00

11:00

### 一日のスケジュール

登園・登所

午前の活動  
おやつ

給



## 午前の活動 (只見地区で散歩)

さくら組の午前の活動は、園外保育で瀧神社やゆり平、三石神社に行きました。トンボやヒメサユリを見つけたり、一の岩に頭を入れたりしました。自然の中で、たくさんの発見をしました。

看護師さんが、ケガをしたり、具合が悪くなってしまったりした子の様子をみてくれます。(程度によって受診を勧めます)



### 只見保育所の様子



只見保育所では只見地区の未満児の保育が行われています。こども園の園外保育や、夕方にこども園から戻ってきた子どもたちと一緒に遊ぶなど異年齢とのふれあいを通して、只見保育所でも社会性などを育てています。

子どもたちはこの様な一日を過ごしています。同じクラスのお友達だけでなく、上のお友達や下のお友達、先生、地域の人、自然など、様々な「人、もの、こと」と関わりながら成長します。先生方は、一日一日成長していく子どもたちに寄り添い、時には支援、時には見守りながら、成長を後押ししています。

